

施設生活での利用者からの 見た目と職員からの見た目

医療法人社団 らぽーる新潟
ショートステイ・ゆきよし とやの

石川 賢次

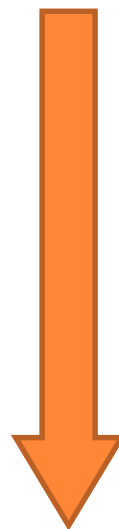
目的

- 「ショートステイ・ゆきよしとやの」が開所して1年4カ月が経過し、御利用者様・御家族様・ケアマネージャー様など、多くの方々の御理解と御協力をいただきながら、今日まで大事なく過ごして来ることができました。

これまでは、主に職員側の目線により設備・サービスの充実を図って来ましたが、改めて介護の原点である御利用者様の目線から現状を把握するため、アンケート調査を実施し、御利用者様がより安心・安全にお過ごしいただける施設運営を目指す。

現状の把握

- 現状を把握するため御利用者様にアンケートを実施
- アンケート結果の集計・検証
- 問題点の抽出・対策の検討
- 職員の意識改革



「介護の原点」 → 「御利用者様本位の介護」

アンケート結果 (御利用者様より①)

＜ロング・定期利用の御利用者様 20名様より聴取＞

- 「雰囲気」 ○明るい、安心できる、知り合いがいて楽しい
△時々職員がせわしなく感じる
(他の施設と比べれば) 良い、悪くは無い
- 「食事」 ○まあまあ
△イマイチ、味が濃い、薄味の時がある
美味しい時とそうでない時がある
おかずが水っぽい、ワンパターン
あんかけメニューが多くて飽きる

アンケート結果 (御利用者様より②)

- 「入浴」
 - ◎・リフト浴で一般浴槽に入れて嬉しい！
 - △・夏場は週に3回は入りたい
 - ・自分が出た後、次の方が入る前に浴槽のお湯を少し流して欲しい
- 「集団体操」
 - △・いつも同じで飽きてしまう
 - ・進行ペースが速すぎてついていけない
 - ・時間が長すぎてツライ
 - ・リハビリ体操と口腔体操をまとめて1回にした方がよい

(※現在は午前中2回に分けておこなっている)

アンケート結果 (御利用者様より③)

- 「レク」
 - △・自分の状態では参加できない
 - ・参加したくないレクがある
- 「職員の対応」
 - ・みんな親切でとてもよい
 - ・すぐに手伝ってくれるので助かる
 - △・言葉づかひの悪い職員がいる
 - ・若い職員の言葉づかひが変で笑ってしまいそうになる
 - ・以前利用していた施設で怒鳴られたり問い詰められたりしたがここではない

アンケート結果 (御利用者様より④)

- 「夜間」
 - △・(コールを押してから)待たされることがある
 - ・同室の御利用者様のいびきが気になり眠れないことがある
- 「その他」
 - ・(御家族様より)御利用者様のご自宅に帰られてから声が明るく良くなった
 - △・もっとリハビリをしたい(用具が欲しい)
 - ・テレビが対になっているので音がぶつかり聞こえない ・好きなテレビが見れない
 - ▲・トイレの扉が開けづらい

問題点の抽出・再検証

○「トイレの扉が開けづらい」



- 現在施設内トイレは左右麻痺に合わせて2種類のトイレが設置されているが、引き戸の取っ手部分が「**健側側**」にあり開ける時には「**患側側**」にスライドさせる形になっている

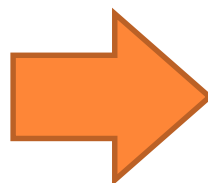


- 御利用者様の目線からすれば、必ずしも状態に適した設備になり得ていないのではないか・・・

右麻痺対応型トイレ



(右麻痺を想定) 健側側を取っ手の扉

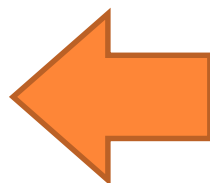
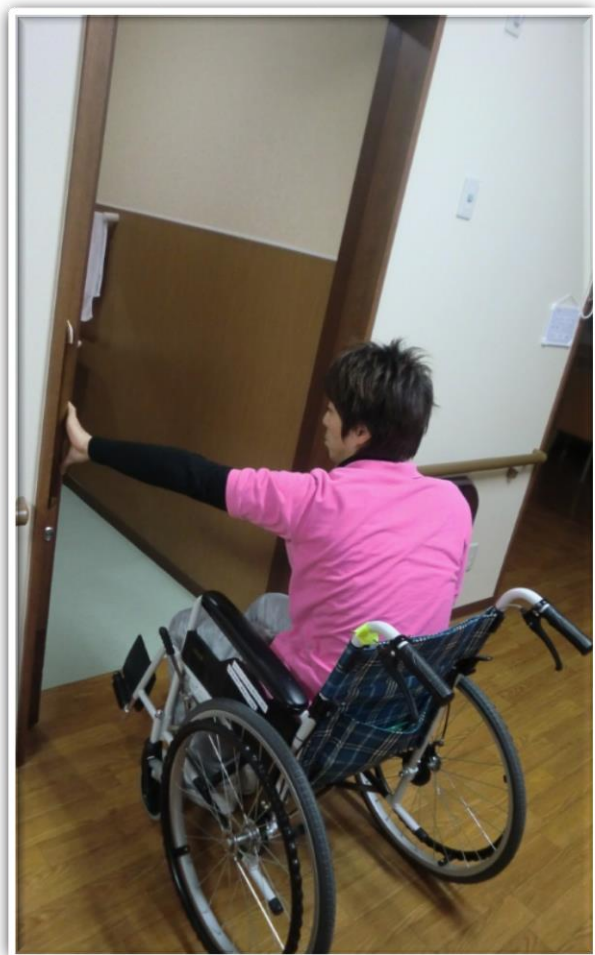


トイレの扉を開ける



開くことはできるが
十分な幅まで手が
届かない

患側側に取っ手の扉で再検証



開口状態比較

＜健側側に取っ手＞



＜患側側に取っ手＞



まとめ

- 介護技術の向上や専門知識を得る事も重要と考えますが、それよりも御利用者様の立場になって考え、状況を理解し介助する事により生まれる「**気付き**」が大切だと思います。

今回のトイレ扉については、一見気付き易いように思えますが残念ながらほとんどの職員は気付いておりませんでした。

介助の必要性に気付けば自然と体が動き、適切な介助が行え、御利用者様との信頼関係が築けるのではないのでしょうか。
また「**気付き**」は、御利用者様が安心・安全な施設生活を送る環境づくりにも役立つものだと思います。

- ※ なおトイレから出る際は当然ながら左右は逆になるが、動作に要する時間は用を足す前の方がスムーズであることが優先されると考えました。

…… ご清聴ありがとうございました ……

